国語科学習指導案

実　施　日　平成 23 年 8 月 31 日
実施クラス　　2 年 4 組（4 校時）
授　業　者　　水　野　直　子

1　指導単元

「短歌を味わう」（光村教科書 2 年、現代短歌の資料）

2　授業改善のポイント（言語活動の充実の観点から）

短歌の創作の前に、心情や表現の工夫の分かりやすい短歌の寸評を書く表現活動を通して、短歌のよさを味わい、学び合う。

3　本時の授業

（1）本時のねらい

短歌創作の手がかりとするために、現代短歌を歌人の評とともに味わい、自分の「イチオシ」の短歌に寸評を添える。

（2）本時の展開

	学　習　内　容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点（評価）
導入	・本時のめあてを知る。 ・プリントを読む。	・授業の最後に一首選んでの評を書くことを伝える。	・身近な題材の短歌に場面を想像しながら読める。	・興味深く読んでいるか。
展開	・評の書き方を知る。 ・好きな歌を選び、評を書く。	・短歌を味わうとともに、寸評に書かれている内容を、評価する言葉の要素を気付かせる。 ・評を書く歌や評の内容も相談してよいので、ずばりよいところを書くよう指示する。	・短い評のなかの、表現の工夫をみつけようとしている。 ・ペアワークで歌を選んでいる。 ・５０字という字数で収まるように端的に書く。	・資料は「家族・食べ物・旅・スポーツ・季節・青春」の 6 部立てである。なるべく重ならないように、ペアワークで一押しの短歌を選ばせる。
まとめ	・教師の選んだ短歌の寸評を聞く。 ・次回に短歌を「部分的に」創作することを知る。	・表現の工夫された評を机間巡視で探し生徒に紹介する。 ・どの歌を元に作るか考えておく。	・友達の評を興味深く聞いている。 ・表現の工夫に気を付けて聞いている。	・評の言葉の選び方に工夫がされているか。